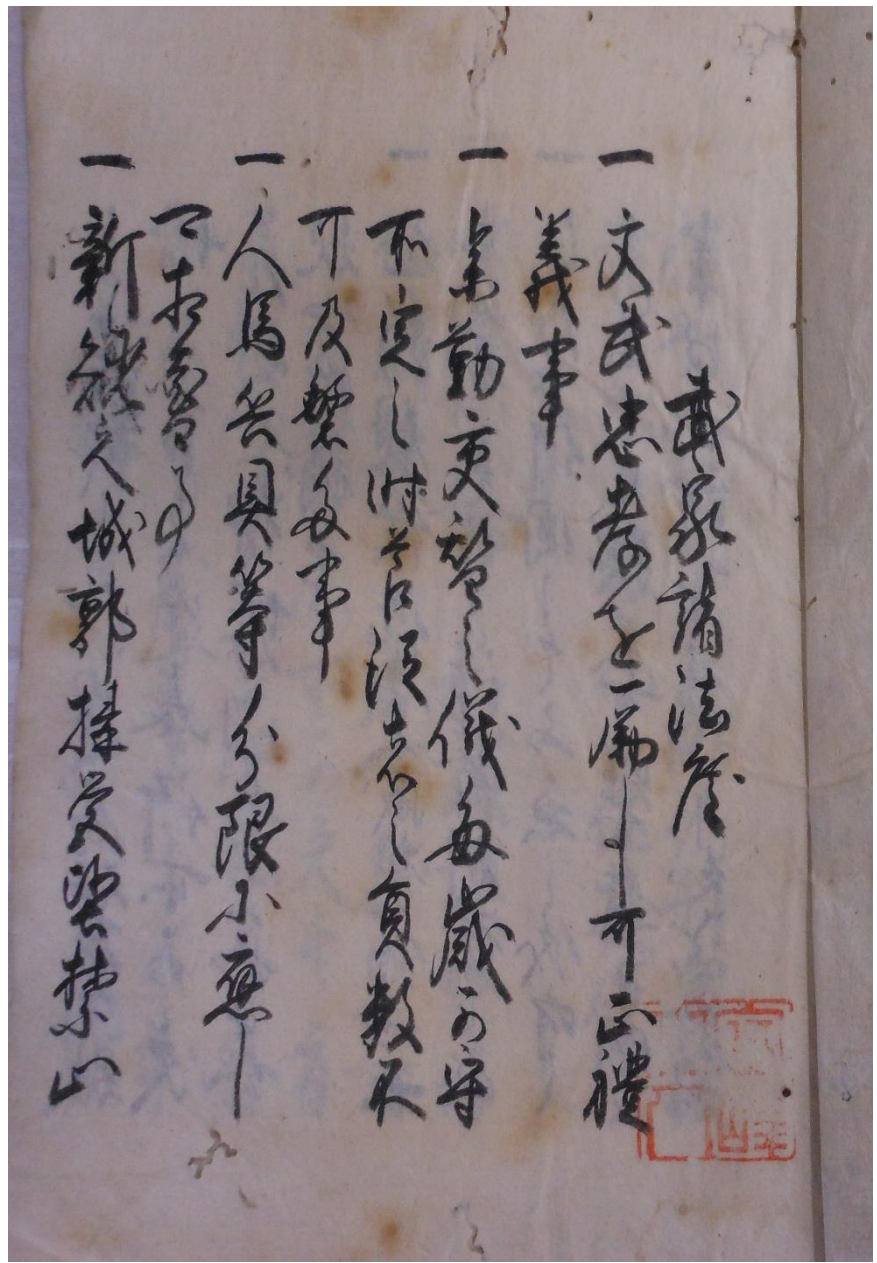
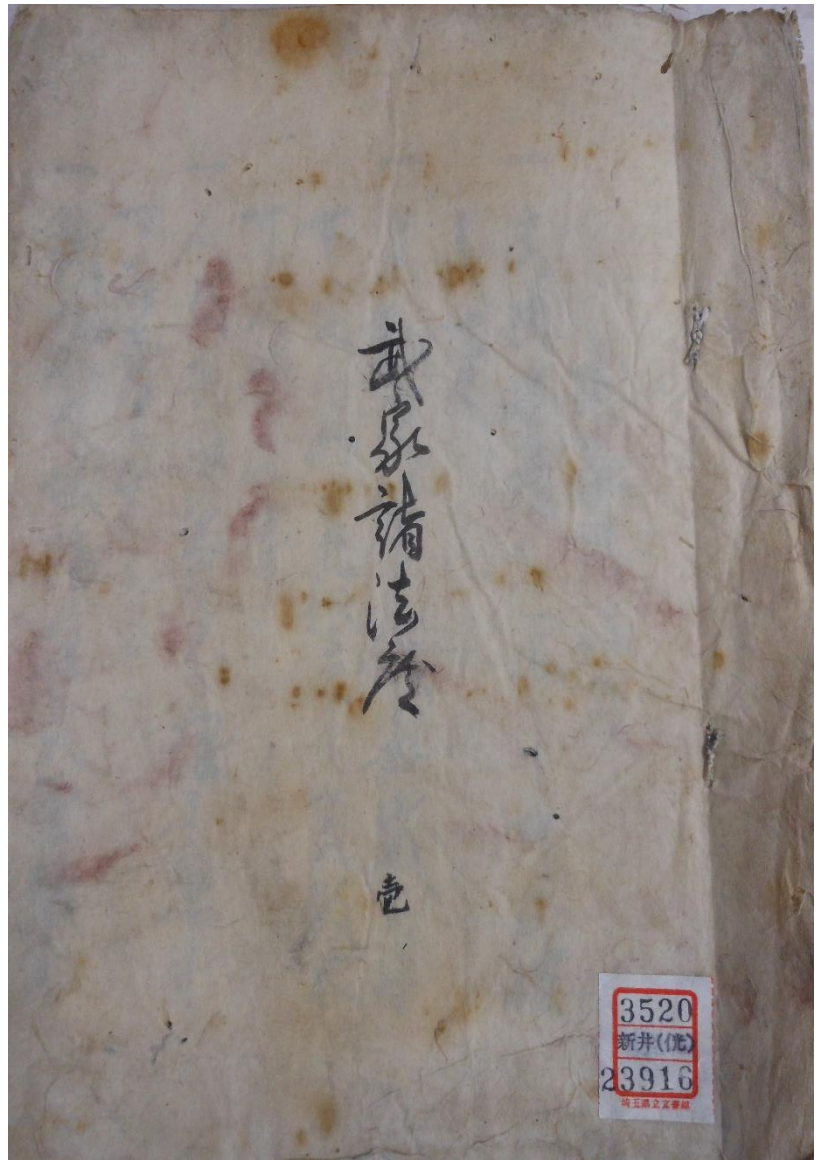


武家諸法度を讀む

史料 武家諸法度 (部分) (新井(仇)家 No. 23916)



一 居城し改鑿石壁等敷
増し官立達奉行所の吏
差國也樽塚門下ハ如先
紀二改補事

一 企新規結迄堂意或想約并私
之園所新法し津反別禁し
一 江戸無何回しとありて改有し
といふも是得不可懸集在園
半は去所を守り下知との相

侍や他不しと難し刑罰後
者し介ふ之出向の任授使し
丸太事

一 喧嘩口論の加護填私し
編割禁なく若廿後子細有
しと違事の下の吏中身
不依の事しと為控表各
中人よりおもひて一英中
同し障有しとせ不之抱

附頭^ハハ^シ少^シ事^ニ百^姓所^端也
其^支死^ハ上^ニ信^合之^涉し
有^洋儀^ヲ詳^定不^可也^為可
吏^掛也

一 國主^城之^方不^以上^道智^并
該^身之^法物^既私^不結^婚獨
也^ハ公^家と^於結^縁過^不違
奉行^所の^吏是^也也
一 青^信賜^首掾^兼規^或編^合

庶^亦家^宅宅^堂作^等去^外
着^事之^用儉^約也^ハ也^ハ
道^具と^好之^成私^意事^也
一 衣^裝も^不可^混礼^白綾^公編
坐^白小^神法^衣也^ハ也^ハ
附^儀若^意也^ハ也^ハ
紳^布木^綿弓^活炮^也
紳^布其^下に^也也^ハ
布^木綿^弓也^ハ